

会議名称	第3回上島町立学校統合準備委員会		
開催日時	令和8年10月26日（月）19：00～20：34		
開催場所	生名地域交流センター 大ホール		
傍聴者	9名	事務局	学校教育課
次 第	1 開会 2 教育長挨拶 3 議事 （1）各部会の進捗状況について ・総務 ・通学 ・PTA 地域 ・生徒支援等 （2）協議事項について ・校名、校訓、制服（総務） ・学校運営協議会、PTA（PTA 地域） （3）その他、連絡事項 4 閉会		

1 開会

2 教育長挨拶

統合に向け、多くの課題についての各部会での協議・協力に感謝申し上げます。

本日は各部会での進捗状況の報告と協議が予定されている。実り多い有意義な会となることを期待する。

3 議事

（1）各部会の進捗状況について

（事務局 A）

本日は、委員 19 名が出席しており、定数 21 名の半数以上が出席しているため、本会が成立する。

本日は、各部会の協議内容の報告と協議が予定されている。

（2）協議事項について

（委員長）

「第1号各部会からの進捗状況」について、事務局からの説明を求める。

（事務局 A）

前回の統合準備委員会以降、開催順に、通学部会、総務部会、PTA・地域部会、生徒支援等部会を開催した。各部長より、部会での協議内容を説明する。なお、協議が必要な部会については、第2号「協議事項について」でお諮りしたい。

（通学部会長 C 委員）

通学部会は月に1度開催している。第3回は、スクールバス運行シミュレーション報告

と安全施設設備、町有バス等との連携について協議した。シミュレーションを受けて、一部停留所等の変更を確認している。バスへの安全カメラやブザーの設置について要望を行う。スクールバスへ乗り遅れた児童生徒の町有バスへの乗車等について、事務局が公営事業課と協議を行った。日課表については、バス運行に関するため学校経営部会と再協議を行う。第4回は、スクールバスの乗車システムと補助員について、緊急対応マニュアルについて協議を行った。乗車システムはデジタルとアナログ併用での要望を行う。また、補助員導入に向けた検討を行っている。緊急対応マニュアルは危機管理マニュアルとの整合性を確認し、整備を進めている。

次回は11月10日開催予定である。

(Q委員)

前回資料で確認すると、停留所が多いと感じた。停留所に関する取り決めはあるのか。少しでも早く到着できるようにするべきである。

(T委員)

現在の停留所を基に計画している。児童生徒のいない停留所はスキップする。

(Q委員)

バス乗車確認のICT化は、個人への委託ではなく、企業への依頼の方が、運営上安心ではないか。導入コストだけでなく、運用全体のコストや保証面も考えて判断してほしい。

(通学部会長 C委員)

児童生徒の安全を第一に比較検討する。

(S委員)

スクールバスの運行マニュアルは、現在学校にはないのか。統合するので、しっかり協議して作っていただきたい。

(通学部会長 C委員)

事務局と相談し、部会で話し合い対応していく。

(委員長)

総務部会について、説明を求める。

(総務部会長 D委員)

第2回では校名候補、校訓候補の選出について協議した。制服についての意見交換、校章作成前の児童生徒の話し合い活動について話し合いを行った。第3回では、制服に関するアンケートの詳細について、アンケート案を基に協議した。校歌の制定については、作詞作曲をについて意見が出され、今後、候補の検討を行う。

(R委員)

制服については、現状通り着用するとなっているが、当面、現在の制服を着用してもいいということか。

(総務部会長 D委員)

統合校で新しい制服を作製するようになると思うが、新しい制服については、新入生は

購入していただき、新２年生以上は現行の制服でも良いとの案が出ている。統合後２年程度で統一されればよいと考えている。

（Ｒ委員）

私服ではないと理解した。

（Ｑ委員）

中学校は、ほとんど制服だとは思いますが、小学校に関しては私服・自由服での登校を聞かず、制服のみでアンケートを取るのか。

（総務部会長 Ｄ委員）

現在、制服着用のため、基本的には、制服着用で話をしている。

（Ｒ委員）

上着だけとの考えはないか。

（総務部会長 Ｄ委員）

今のところ、上下で制服着用と考えている。

（Ｓ委員）

ウェブでのアンケート実施とあるが、家庭数か、児童生徒の人数分の回答か。

（総務部会長 Ｄ委員）

家庭数での実施を考えている。

（Ｑ委員）

選択肢に私服を入れなかった理由は何か。

（総務部会長 Ｄ委員）

部会での協議では、私服は、選ぶことや金額的に負担になるため、制服着用が望ましいとの結論になった。

（Ｔ委員）

いきなり選択肢を絞るのはどうなのか。私服が圧倒的に多かった場合、着たくない制服を選択することになる。アンケートには項目を設けるべきではないか。

（総務部会長 Ｄ委員）

再度、部会の中で協議したい。

（委員長）

アンケート項目に私服の選択肢を入れるべきとの意見であった。後ほど協議の時間も取りたい。

（Ｃ委員）

総務部会では、家庭の負担を考慮し、制服との結論となった。今後の部会での協議の参考にするため、総務部会員以外の委員の意見を求めたい。

（Ｒ委員）

生名中と弓削中統合時、ブレザーに変えたが、高価であるとの批判が多かった。制服にするならば価格も基準になるのではないか。

（Ｓ委員）

保護者が回答するような案であるが、保護者には児童生徒とも相談して回答していただきたい。私服の項目も入れるべきである。

(Q委員)

制服か私服かの分岐はあってもよい。制服前提はよくない。私服を選択しても、制服であればどうかというアンケートにすればよい。制服制定となっても私服が一定数いたのであれば、「私服デー」を設けてもよいのではないか。誠実性を示すためにも私服項目を設けてほしい。

(委員長)

P T A・地域部会について、説明を求める。

(P T A・地域部会長 副委員長)

第2回では、学校運営協議会の設置方法、P T A会計繰越金、P T A年会費について、意見がまとまった。小学校P T Aについては、専門部会についても協議した。次回、P T A会則、中学校体育文化後援会費について話し合う予定である。

(委員長)

質問等ないようであれば、生徒支援等部会について、説明を求める。

(生徒支援等部会長H委員)

生徒支援等部会では、生徒指導主事グループと特別支援コーディネーター、養護教諭グループ、教頭グループで協議している。生徒指導グループでは、小学校3校で学校の決まり等には差が見られず、今後、保護者や児童に十分な説明を行うこと、服装については決まり次第、着用方法等についても検討していくこと、島外への子どもたちだけの行動範囲について、安全面を十分に考慮して検討していくことが話し合われた。

特別支援では、配慮を要する児童生徒の引継ぎ資料を検討し、上島町教育相談時の記録様式を基に、作成中である。令和9年7月までに作成し、8月に引継ぎ会ができるよう計画している。養護教諭班会でもは、引継ぎシートの様式を今年度中に統一して、令和9年度から実際に使用する計画である。

危機管理マニュアルも作成中で、今後も精選が必要である。次回は11月11日に開催予定である。

(委員長)

質問がないようであれば、第2号協議事項に移る。

(委員長)

第2号協議事項について、まず、総務部会長から説明を求める。

(総務部会長 D委員)

校名について、応募結果を基に部会で協議した。小学校では、上島小62票、ゆめしま小32票、うみかぜ小1票、しまの和小1票、結島小1票。中学校では、上島中47票、ゆめしま中33票、海風中1票、しまの和中1票、結島中1票。これらを学校設置者へ報告し、校

名を決定していただきたいと考えている。

（Ｑ委員）

集まったのはこれで全てか。部会で選考したものか。

（総務部会長 Ｄ委員）

部会で協議し、選考した。

（Ｑ委員）

校名の議事録が出てから、自分の周辺で聞き取りを行った。「ゆめしま」が上島町の目玉ではあるが、魚島小中の合流を考えたときに、ゆめしま海道は繋がっていない。新しい学校を作っていくので、既存の名前に捉われない方がよいのではないか。

個人的には感じるのは、「ゆめしま」は、大阪ではゴミの埋立地である。これをイメージするのはごく少数だと思うが、未来ある子どもたちの学校名に採用するのはいかがかと意見を投じたい。ぜひ、こういった意見も添えていただきたい。

（Ｒ委員）

「上島小・上島中」が位置的にも対外的にもわかりやすい。その他の候補に応募した理由や背景も添えて学校設置者へ報告すべきである。

（Ｑ委員）

できれば票数も伏せていただきたい。私独自のアンケート（50～70人程度）では、「ゆめしま」が圧倒的な票数であった。一つ参考としていただきたい。

（Ｒ委員）

学校設置者への報告の仕方も検討すべきである。準備委員会で１つに絞るべきか、このまま複数を出すべきか。

（委員長）

校名を選んだ理由を付けて、学校設置者へ報告することとしてよろしいか。

（Ｊ委員）

部会でも出たが、ゴミの島でイメージが悪いことも報告するのか。東京にもあり、大阪にもある。応募者は、そういうふうを考えて応募したのだろうか。

（Ｉ委員）

応募者にそのような考えはないだろうと結論付けた。

（Ｒ委員）

このまま報告しても、票数は聞かれるのではないか。

（Ｑ委員）

票数でバイアスがかかることを心配した。しかし、伏せることが正解とも思わない。お任せする。

（委員長）

票数記載で理由を添え、「ゆめしま」については、委員会で出た意見を添えて学校設置者へ報告することとしてよろしいか。

続いて、校訓について説明を求める。

（総務部会長 D 委員）

校訓について、各校で話し合いを行い、案を出した。小学校は、「しなやかに歩む」「しなやかに伸びる」「しなやかに学び、伸びゆく」「正しく 考え励む 頑張る子」の 4 案である。中学校は、「敬愛 自主 創造」の 1 案である。小学校案は、いずれかに絞りたい。中学校については、本案を校訓といたしたい。

（委員長）

中学校の「敬愛 自主」は弓削中、岩城中の校訓の中にある。新たに「創造」を加えたものである。「敬愛 自主 創造」としてよろしいか。

（R 委員）

はい。

（委員長）

小学校について、部会より 4 点の候補が提示されている。委員各位の意見を求める。

（R 委員）

「しなやか」は流行りか。「しなやか」の解釈を教えてください。

（B 委員）

各学校から出た案一つである。「たくましい」という校訓はよくあるが、未来が予測しにくい社会に子どもたちが出たときに、しんどくなっても立ち直れるという意味で、また、上島の子どもたちはいずれ外に出る可能性があり、その時に大変なことがあっても、自分の力で元に戻れる、そのようなことを考えて「しなやか」を選んだ。

（Q 委員）

「正しく 考え励む 頑張る子」は「頑張る子」に集約されている。他の 3 点は、「子」は付かないのか。これ以上の変更はないのか。

（B 委員）

今のところは「子」は付けない。校訓の下、学校教育目標があり、望ましい児童生徒像、教師像が出てくる。そこで、更に具体的にしていく。

（T 委員）

例えば、「しなやかに歩む」に対して、人生のあらゆる変化に対応して柔軟に対応しながら心を持って前に進む姿をイメージしたと言われたらわかりやすいが、言葉だけではわかりづらい。意味合いを付けていただきたい。

（委員長）

部会で再協議し、意味合いを付けて、準備委員会に再度お諮りしたい。

続いて、制服について説明を求める。

(総務部会長 D 委員)

制服について、部会では現状通り着用すること、アンケートを実施し、結果を参考にしながら候補を出すこととなった。アンケートは、中学校については小4から小6の保護者、小学校については、小1から小4と保育所の保護者を対象として、ウェブで実施することとなった。先ほどの協議を受け、私服か制服かをまず聞くこととした方がよろしい(大本委員)

先程意見も出たため、挙手でいいのではないか。

(項目を設ける 9 委員挙手 項目を設けない 8 委員挙)

(O 委員)

私服か制服かの2択アンケートのみでいいのではないか。

(Q 委員)

制服多数の場合、再度アンケートをするのは手間である。アンケートの最初に設問を設け、私服を選んでも、制服になった場合の考えを聞くようにすればいい。制服の賛否のみを聞きたいわけではなく、誠実に対応するためである。

(I 委員)

総務部会で何度も話し合った結果であるが、委員各位の意見を取り入れるのであれば、Q 委員提案のように最初に質問を設ければよい。せっかく部会の話合いで決まったことであるため、少し尊重していただきたい。

(A 委員)

小中別でアンケートを実施するのか。今治市・越智郡では、小学校は私服の学校もあるが、中学校は思い付かない。

(O 委員)

私服を選んでも、制服に関する設問にも回答するように注意書きを入れておくべきである。

(委員長)

挙手にて確認する。

(設問を最初に設け、一度に聞く 17 委員挙手 まずは2択で後日聞く 挙手なし)

(R 委員)

理由欄を設けていただきたい。

(委員長)

続いて、PTA・地域部会の説明を求める。

(PTA・地域部会長 副委員長)

学校運営協議会の設置について、小学校統合年度である令和10年度から小・中一体で学校運営協議会を設置する案でまとまった。ただし、令和10年度は、弓削中、岩城中が存続するため、学校運営協議会を前半の全体会、後半の分科会として、小・中でそれぞれ協議する時間を設けることで対応することとなった。なお令和11年度以降は、10年度の

運営状況を検証し、小中一体となった運営協議会として、より効果的な運用方法を検討していきたい。

（委員長）

部会提案の通り、小中一体型での設置としてよろしいか。挙手を求める。

（全委員 挙手）

（委員長）

続いて、PTA繰越金について説明を求める。

（PTA・地域部会長 副委員長）

新設校PTAの円滑な運営開始のため、各校PTA会計から、児童数及び教職員1人につき3000円を基本として資金を引き継ぐといたしたい。なお、算定基準日は、小学校は令和9年5月1日、中学校は令和10年5月1日といたしたい。

（Q委員）

もう少し詳細に説明していただきたい。

（PTA・地域部会長 副委員長）

現在、各校PTAに繰越金があり、閉校までに使い切ると、統合校は予算なしでスタートする。開校にあたり、いろいろな事業を執り行う必要があるため、公平に児童数と教職員数、1人当たり3000円を現在のPTA会費から持ち寄る。初年度に困らないようにするためである。協議の結果、妥当な金額ということになった。残金については閉校行事等で、子どもたちのために使い切るということでまとまった。

（委員長）

提案通り進めてもよろしいか。

（多数の委員）

はい。

（委員長）

続いて、PTA会費について説明を求める。

（PTA・地域部会長 副委員長）

PTA年会費については、各校で集金額・集金方法等異なっている。各校の会計決算等を参考にし、小学校は月400円の12ヶ月分家庭数、中学校は月300円の12ヶ月分家庭数ということとした。

（委員長）

提案の通り、いずれも年額・家庭数で小学校4800円、中学校3600円としてよろしいか。

（I委員）

金額はいいが、PTA会費の用途を教えてください。

（PTA・地域部会長 副委員長）

様々である。小学校では親子活動、また、PTA保険、健全育成費、式典等の経費等に活用している。各校平均して年間5000円程度使っており、この金額とした。

(委員長)

P T A会費について、提案通り進めてよろしいか。

では、小学校P T A専門部会、人数等について説明を求める。

(P T A・地域部会長 副委員長)

小学校P T A専門部会については、学級P T A役員を各学年各地区1名ずつ、広報部を生名地区は1名、弓削地区、岩城地区においては2名ずつ、地区役員を生名地区は1名、弓削地区、岩城地区においては2名ずつ選出といたしたい。呼称については今後協議を行う。各校の活動をまとめると、この3部門に集約されている。

(委員長)

小学校P T A専門部会の人数等について、提案通り進めてもよろしいか。

(I 委員)

よろしい。

(委員長)

最後に、学校経営部会の説明を求める。

(学校経営部会長 A 委員)

教頭・教務主任会を開催し、校務分掌案を作成した。この案を基に、統合校で最終決定したい。今後、校訓が決まり次第、教育目標、学校経営方針等を作成していく予定である。

(委員長)

各学校のものを持ち寄って作成した案である。提案されたものを基に最終決定していいてよろしいか。

(Q 委員)

この資料について説明をいただきたい。また、統合にあたり、変更点や特筆点があればお示しいいただきたい。

(学校経営部会長 A 委員)

学校における役割分担図である。大きく教務部・研修部・生徒指導部・管理部・渉外部に分かれている。各部の下にそれぞれ細かく役割が示されており、各教員が割り当てられる。

(委員長)

学校運営上必要な様々な校務を表にまとめて、教職員が分担していく。年度当初にまとめ、この図を見て動けるようにしている。ここまでできているという報告である。

(S 委員)

小学校の生徒指導の中にいじめ・不登校対策が記載されているが、中学校には見当たらない。どこに位置付けられているのか。

(D 委員)

全教育活動を通じて行うが、担当は、生徒指導のところである。

(S 委員)

小学校のように、項目として記載する予定はないのか。

(D 委員)

生徒指導の仕事の中に位置付けられている。

(学校経営部会長 A 委員)

小学校は記載しているが、担当は生徒指導主事である。

(委員長)

中学校も「児童生徒支援」の項目がそれにあたる。

(S 委員)

地域との交流学习という項目はないのか。

(学校経営部会長 A 委員)

教頭が担うことが多いが、各教科で各担当教員が行う場合もある。また、学校運営協議会で地域コーディネーターもいろいろ繋いでいただいている。

(委員長)

内容によってどのようにカウントされているかにより担当が変わる。行事等であれば、教頭が担当である。

(Q 委員)

今後、大枠での増減はあり得るのか。

(学校経営部会長 A 委員)

大きな柱建は変わらない。統合校の人事・異動が決まってから全てを考えることは難しいため、現在使っている物を参考に大枠を作っている。細かい点は若干変更の余地はある。

(委員長)

続いて、第 3 号その他連絡事項に移る。ご意見はいかがか。

意見がないようなので、本日の議事を終了する。

4 閉会